

## 【第2版】

# 新型コロナウイルス (COVID-19) への JAG ガイドライン

新型コロナウイルスに対する日本アッセンブリー・オブ・ゴッド教団としての感染防止対策のガイドラインを以下のように 3月25日現在 で更新しました。

国の新型コロナウイルス感染症専門家会議の見解を踏まえ、当面4月下旬までの教会、教区、教団各部・各委員会・各室の諸活動の判断の基準として ください。

### (1) 教会員へのガイドライン

- ・日常的な手洗い、うがいの励行
- ・咳エチケットの励行（感染症を他の人に感染させないために、マスクやハンカチ、袖ティッシュを使って口や鼻を押さえること）
- ・咳、37.5度以上の発熱、呼吸困難など、風邪に似た症状のある方は、無理に教会へは行かず、病院へ行くか、自宅で療養してください。
- ・周囲に感染者が発生した場合は、教会の諸集会の出席や教会員に会うことは避けてください。

### (2) 教会（主管者・役員会）へのガイドライン

- ・手洗い・マスク着用（賛美の間は特に着用）の励行、アルコール消毒薬の設置
- ・37.5度以上の方には帰宅していただけるよう、非接触型体温計等で検温できる体制づくりを推奨します。
- ・握手の自粛
- ・部屋の換気（最低一時間に一回）
- ・座席位置の記録（感染者が出た場合に濃厚接触者の確認のため、写真記録可）
- ・各集会開催の必要性の再検討。尚、教会での礼拝を中止する場合は、教会員が家でも礼拝が捧げられるよう努力してください。賛美、祈り、献金することができ、文書やメール、ネット配信等、様々な形でメッセージが提供できるように努めてください。
- ・教団では、3月から5月までの教団負担金の20%還付を実施しますが、礼拝や集会の自粛に伴う献金収入の減収の場合、教会運営や銀行ローンの返済をどのように維持するか、役員や教会員と教会会計について検討ください。

### (3) 教区（教区长・教区委員会）へのガイドライン

- ・教区会の開催の可否は各教区の自主判断に委ねます。開催する場合は感染防止対策をしっかりと実施してください。
- ・教区聖会、地区聖会の4月、5月の開催については、原則中止か延期の方向で調整してください。

### (4) 部・委員会・室へのガイドライン

- ・部・委員会・室の開催についてはそれぞれの判断に委ねます。但し、Skype や Zoom 等でインターネット会議が可能な場合はそれを優先してください。

### (5) 「共同の祈り」のお願い

- ・教団公式サイトに新型コロナウイルス感染のための「共同の祈り」を掲載しています。これはシンガポール AG から提案された「共同の祈り」をアレンジしたものです。